

## 「市民まちづくり講座in明石」連続開催へ

### 7/23(日) ①明石港再開発計画とは何か？

政策提言市民団体「市民自治あかし」は、6月10日開いただいた5回総会で「市民まちづくり講座 in 明石」を年間通じて連続開催していく計画を打ち出しました。山積する市政とまちづくりの課題を具体的に一つずつ取り上げて、市民に広く関心のすそ野を広げていく事業です。

原則として毎月1回のペースで、新しく開設されたアスパia明石8階の市民活動支援センターのフリースペースで開催します。明石市内で生じているさまざまな「まちづくりの課題」や「市政の課題」を、広く市民の皆さんと共有し、深めていくことをめざします。

#### 市民まちづくり講座 in 明石 第1回

日時 7月23日(日)午後1時30～4時30分

会場 ウィズあかし(アスパia明石8階)市民活動支援センターフリースペース

※事前申込は不要 どなたでも参加できます。当日資料代 300円

連続講座のスタートは、明石駅前中心市街地の南の拠点である「明石港」で検討が進められている再開発計画をテーマにします。

中心市街地活性化基本計画では、明石駅前再開発事業と明石港周辺の再整備事業は車の両輪であり、駅前の再開発ビルだけでは中心市街地の活性化にはつながらないことが明記されていました。しかし、2015年10月に提示された同計画の「第2期計画」には肝心の砂利揚げ場を含めた港湾区域の整備計画は何ら触れず、計画中の大衆演劇劇場「ほんまち三白館」に依存した案しか盛り込んでいませんでした。

ところが、昨年6月になって兵庫県が砂利揚げ場の移転または廃止を前提とした「明石港東外港再開発検討委員会」を立ち上げて、昨年10月から委員会を開催し、今年5月までに3回の委員会を開き今年上半期中に港の再開発計画を提案するとしています。そもそも砂利揚げ場を含めた東外港は、フェリー乗り場のために埋め立て造成されたものですが、フェリーの廃止やフェリー跡地の民間マンション開発業者への売却の過程では港の再整備計画には取り組まず、フェリー跡地にマンションができてしまってから港の再開発を検討するという不可思議な経過をたどってきました。

いま、県主導で進められている明石港再開発計画づくりではどのような検討が行われているのかを検証するとともに、明石の海の玄関口でもある明石港と周辺地域のあり方を一緒に考えてみませんか。

## 当面の講座テーマの予定と開催計画

第2回以降の当面の講座の開催計画は次の通りです。市の出前講座の要請等の協議がこれからなので、開催時期やテーマは流動的です。

- ◎旧図書館跡と生涯学習センター分館の行方 (市の出前講座を予定)
- ◎中核市移行と明石市の行財政の将来 (市の出前講座を予定)
- ◎明石の食文化とは何か? B級グルメ西日本大会の開催を前に考える
- ◎「支え合いの地域福祉」の現状と課題

# 採決時には「賛否の理由」を明確に

## 6月議会に8回目の連続請願書を提出

6月9日開会した6月定例市議会に、市民自治あかしは8回目の連続請願書を提出しました。

明石市議会は議会基本条例に「透明性の確保」や「市民に対する説明責任を十分に果たさなければならない」「議案の審査にあたっては十分に議論を尽くす」と明記しているにもかかわらず、賛否が分かれた議案についても賛成または反対の理由を明確にしないまま採決し、多数で押し切るケースが少なくありません。

請願はこうした現状を改め、採決の際には議会基本条例に定めた行動原則を遵守して欲しいという趣旨から、次の2点について請願しています。

- ①委員会付託議案についての本会議における「委員会報告」に際しては、とくに委員会採決時に賛否の意見が分かれた議案については、討議内容と賛否の意見についての各理由を分かりやすく報告するように努めてください。
- ②本会議の議案採決に際しては、とくに賛否が分かれる議案については、議員または会派単位であっても「その賛成または反対の理由を明確にする討論」を行うようにしてください。

## 大久保のJT(日本たばこ産業)跡地、市の購入始動か？

6月中にも市に購入意向の正式打診、利用方法未定のまま巨額の土地購入の可能性も

明石市の本庁舎建て替え計画も絡んだ大久保町のJT工場跡地問題について、JT側が6月中にも市に購入意向の協議を申し入れる動きが出ています。大久保駅南のオーズタウンの一角にある約5.8畝の土地で、市は昨年6月議会で泉市長が「取得に向けて前向きに取り組みたい」と答弁していました。

同工場跡地については、90年代初めに神戸製鋼大久保工場の跡地を再開発し現在のオーズタウンを造る際に併せて整備することを市が働きかけたが、JT側が拒否。

このため、大久保駅南の市街地の一面がそのまま取り残されていました。

数年前からJT側が売却する方針を打ち出し、市役所本庁舎の建て替え問題にからんで地元自治会連合会や市議会の一部に「市役所の久保移転候補地」として活用するように求める動きも出ています。市街地の大規模な土地を売却する際には、市への届出と市の購入意思を協議することが義務付けられているが、市は庁舎建て替えについては2年後までに結論を出すことをこの3月に明らかにしたばかりで、大久保はその候補地の1つに過ぎない。

購入する場合には約40億円程度という説もあり、厳しい財政事情と公共施設削減方針を打ち出している中で、新たな財政負担との兼ね合いからも議論になり、市政の大きな課題になるのは必至です。



更地になっているJT工場跡地

### 西川あゆみ議員(共産)が辞職

健康上の理由で6/9可決、欠員1に

明石市議会の西川あゆみ議員(共産党議員団、45歳)が6月9日付で辞職願を議長に提出し、同日開会した6月議会本会議冒頭で可決されました。「健康上の理由」と説明されています。西川議員は2期目。議員定数30の市議会は欠員1、共産党議員団は2名になりました。

### 「ウイズあかし」の名称に アスピア7-9階

4月に新設されたアスピア明石8階の市民活動支援センターなど生涯学習センターと男女共同参画センターの3つの市民活動施設の総合名称が「ウイズあかし」と決まりました。

市民活動支援センターには無料のフリースペースや会議室も設けられ、市民団体に多様な便宜を図る拠点が生まれました。